

★ デイジー図書案内 ★ 令和3年4月～令和4年3月

番号	書 名	著 者	分 野
1	荒野の古本屋	森岡 督行／著	図書
	散歩と読書三昧の青年が、個性的な古書店を開業。前代未聞の「一冊の本だけを売る書店」森岡書店を成功させるまでをリリカルに描く。		
2	信州幸せルール	大沢 玲子／著	雑学
	“ずく”、“ボケてる”りんご。食べ物、自然、言葉、風習など、信州人が幸せな44の理由を紹介。		
3	小さな反逆者	C.W.ニコル／著	海外文学
	少年クライブは誇りをもっていたが、大人には分かってもらえない。無念な気持ちがユーモラスに語られる。著者の少年時代の回想記。15の短編。		
4	きみを変える50の名言 [1期1]	佐久間 博／著	心理学
	プロ野球選手・鈴木イチロー、俳優・樹木希林など、スポーツ界・芸能界の著名人の、気持ちが前向きになる名言を紹介。		
5	軍事郵便は語る	桂木 恵／著	社会
	日露戦争とは何だったのか。信州に残る、出征した兵士たちが母校の小学校長に送り続けた550通の軍事郵便を読み解く。		
6	戦後ゼロ年東京ブラックホール	貴志 謙介／著	社会
	ヤミ市、隠匿物資、地下政府、新興宗教…。焼野原となった占領都市TOKYOに、いったい何が起きていたのか。NHKスペシャルを書籍化。		

番号	書 名	著 者	分 野
7	丹保の歴史と民俗	丹保の今昔を語る会／編	郷土
	リニア開通を控える上郷飯沼の丹保地区。住民有志でつくる会のメンバーが「次世代に語り継ぎたい」と、聞き取り調査や資料分析を実施。		
8	諏訪式。	小倉 美恵子／著	日本史
	縄文遺跡、明治の片倉製糸、昭和の精密機械など、多くの仕事や人が、どうしてこの土地から生まれたのか？ 諏訪の地力を丹念な取材で掘り起こす。		
9	満洲分村移民を拒否した村長	大日方 悦夫／著	日本史
	戦時中、信州・下伊那の山間に押し寄せた“満洲分村移民”の波。村長・佐々木忠綱はなぜ、「国策」を拒むことができたのか。忠綱の人物像と行動の実態に迫る。		
10	川路のあゆみ	飯田市歴史研究所／編	郷土
	川路の歴史を特徴づける12のテーマを選び、基本となる史料の写真、文字の解説、現代語訳、むずかしい言葉の意味などを掲載。		
11	しごと放浪記	森 まゆみ／著	自分史
	男女雇用機会均等法以前の会社勤め、思いがけない妊娠、地域雑誌の創刊、離婚して物書きへ…。仕事について考えるためのヒント。		

番号	書 名	著 者	分 野
12	探検家の事情	角幡 唯介／著	エッセイ
	不惑をすぎても妻とケンカ、忘れ物をしすぎて北極で死にそうに! 非日常を追求した探検家・角幡唯介が、実は小市民的すぎる日常を明かすエッセイ集。		
13	ふるさと遙か	塩澤 実信／著	紀行文
	卒寿を前にふるさと信州伊那谷への思いが強くなり…。双葉社取締役編集局長等を歴任した著者が、ふるさとを描いた16編を収録。		
14	記憶を拓く	信濃毎日新聞社編集部／編	郷土
	日韓の対話と共感の糸口を探る。『信濃毎日新聞』連載と関連の特集などをまとめて書籍化。		
15	幻の村	手塚 孝典／著	郷土
	満洲で自決した開拓民。本土で自死した村の有力者。残された日記を手掛かりに、満蒙開拓の真相に迫る。		
16	他者を感じる社会学	好井 裕明／著	社会
	他者を理解したい、つながりたいと思ったときに生じる「摩擦熱」が差別の正体。誰かを気に入らないと感じるのはなぜか考えます。		
17	極上のおひとり死	松原 惇子／著	社会
	本人が自分の生き方を貫いたのであれば、それは孤独死ではない。「おひとり死」の実例と、ひとりで安心して死ぬためのノウハウを紹介。		

番号	書 名	著 者	分 野
18	飯田・下伊那の災害	吉田 忠正／著	郷土
	これまでの長い歴史の中で起きた代表的な災害と、先人たちがどのように災害に対応してきたのかを豊富な写真で紹介・解説。		
19	読み書きは人の生き方をどう変えた?	川村 肇／著	教育
	江戸時代以降、主として民衆がどのように読み書き能力を獲得したのか、それはどの程度のものなのかを、様々な資料に基づいて解き明かす。		
20	私たちの飯田市	飯田市教育委員会／編	郷土
	中学生副読本		
21	わたしたちの飯田市	飯田市教育委員会／編	郷土
	小学3・4年生社会科資料		
22	ニッポンの奇祭	小林 紀晴／著	文化
	諏訪の御柱祭、宮古島のパーントゥ、大分のケベス祭など、「奇祭」に惹かれた著者が、出身地・長野県諏訪地方を出発点に、日本全国の祭りを訪ねる。		
23	これからの時代を生き抜くための生物学入門	五箇 公一／著	生物学
	大人向けの生物学入門講義。人間社会に潜む歪みやジレンマとその原因を生物学的に分析する。		
24	江戸幕府の感染症対策	安藤 優一郎／著	医学
	先人は疫病にどう対処したか。江戸幕府の対応策を通して、都市崩壊の危機をいかにして脱したのか、危機管理術を解き明かす。		

番号	書 名	著 者	分 野
25	ウォーキングの科学	能勢 博／著	健康
	忙しい人でも、運動嫌いの人でも、膝や腰が痛くても、リハビリ中でも応用できる画期的な「インターバル速歩」を徹底解説。		
26	山と獣と肉と皮	繁延 あづさ／著	農業
	自然の命を殺して、食べて、生きる。里山で狩猟者との時間、獣の死と皮革にまつわる「穢れ」の考察、そして野生肉をめぐる思索と料理の記録。		
27	信州の鉄道物語 下	小林 宇一郎／著	郷土
	信州の鉄道発祥と盛衰の物語を、四半世紀ぶりに復刊。合理化や存続の危機にさらされながらも、生活や観光を支えて走り続ける路線を紹介。		
28	心の歌よ!	伊藤 千尋／著	音楽
	日本人を引きつける「赤とんぼ」、夜空の星に早世した兄を想う「涙そうそう」。歌の背景を知り、歌に込められたものの奥深さを味わう。		
29	ビビる大木、渋沢栄一を語る	ビビる大木／著	芸能
	ビビる大木が芸人としての生き方・考え方を綴りながら、渋沢栄一の考えやエピソードを紹介。		
30	弔辞	ビートたけし／著	芸能
	失われつつあるすべてのものに捧げる「弔辞」。芸論から人生論・世界観まで、ビートたけしが73歳になった今、考えていることを綴る。		

番号	書 名	著 者	分 野
31	昭和十八年幻の箱根駅伝	澤宮 優／著	スポーツ
	軍部の圧力で中止された箱根駅伝。昭和18年、戦勝祈願という名目で靖国神社をスタート地点として開催。幻の大会の全貌を描くノンフィクション。		
32	さてさて、きょうのおはなしは…	瀬田 貞二／再話・訳	昔話
	日本の児童文学者、瀬田貞二の生誕百年を記念した昔話集。「かさじぞう」「三びきのやぎのがらがらどん」など全28話を収録。		
33	NHK全国俳句大会入選作品集 第22回	NHK全国俳句大会事務局／編	俳句
	コロナ禍で日常にさまざまな制限がある中、日本全国また海外から集まった、思いが込められた作品の数々。		
34	ヤッさん 料理人の光	原 宏一／著	小説
	何をやっても中途半端な青年・ショータ。再出発を誓い、料理人にとって最も大切なものを探し求める。「ヤッさん」シリーズ第4弾。		
35	いとまの雪 上・下	伊集院 静／著	小説
	大坂夏の陣から70年。家老・大石良雄は、赤穂藩主・浅野内匠頭の清らかな心に惹かれながらも、危うさを感じ取り…。日本史上最も有名な復讐劇を独自の視点で描く。		
36	伊那谷五十景	下沢 勝井／著	小説
	長野県南部の山村に生まれた著者が「私の中の伊那谷風景」をつづる。『信州日報』掲載を再構成して単行本化。		

番号	書 名	著 者	分 野
37	エミリの小さな包丁	森沢 明夫／著	小説
	恋人に騙され、職もお金も失ったエミリ。無口な祖父や、周囲の人たちの優しさに触れ…。人間の温かさと心の再生を描く癒やしの物語。		
38	大雪物語	藤田 宜永／著	小説
	記録的な積雪に見舞われたK町。想定外の雪が奇跡の出会いを生む…。著者自らの罹災体験を基に描く短編6編。		
39	幼なじみ	佐伯 泰英／著	小説
	新・居眠り磐音シリーズ。深川の唐傘長屋で育った幸吉とおそめは物心ついた頃から身内同然。それぞれ奉公、縫箔師の修業を実現させ、一人前の職人へと着実に歩む。		
40	終わらざる夏 上・中・下	浅田 次郎／著	小説
	1945年、夏。片岡は45歳の兵役年限直前に赤紙を受け取る。何も分からぬまま、医師の菊池、歴戦の軍曹・鬼熊とともに北の地へ向かった。終戦直後の知られざる戦いを舞台に戦争の理不尽を描く歴史的大作。		
41	ぎょらん	町田 そのこ／著	小説
	人が死ぬ瞬間に遺す、小さな赤い珠「ぎょらん」。三十路のニートの朱鷺は大学1年の時に口にした友人の「ぎょらん」に今も苦しみ…。表題作ほか全6編を収めた連作奇譚。		

番号	書 名	著 者	分 野
42	銀の夜	角田 光代／著	小説
	女子高時代に少女バンドでメジャーデビューをした3人。35歳の今、欲しいのは生きる手応え。あの頃以上の興奮はあるのだろうか。		
43	草花たちの静かな誓い	宮本 輝／著	小説
	ロス在住の叔母の訃報。相続人である甥の弦矢は、幼くして死んだはずの叔母の娘が実は行方不明なのだと知り、謎を追い始める。		
44	しのぶ恋	諸田 玲子／著	小説
	安藤広重「目黒太鼓橋夕日の岡」など、浮世絵の名作に材を取った短篇7本を収録。男と女、出会いと別れ。喜怒哀楽の表情を濃密に描く。		
45	数学者の夏	藤本 ひとみ／著	小説
	たった一人でリーマン予想に挑む天才高校生・上杉和典。数学に没頭するため山奥の村へやってきたが、事件に巻き込まれてしまう。		
46	断層の森で見る夢は	藤本 ひとみ／著	小説
	南アルプス。600年を超える因習の村で、突如起こった怪事件。インターチェンジに消えた数学の天才は何を見たのか。		
47	天切り松闇がたり	浅田 次郎／著	小説
	松は、六尺四方から先には聞こえないという独特の話し方で、自らの半生を語り出す。伝説の大泥棒が追憶する、愛と涙の裏稼業。		

番号	書 名	著 者	分 野
48	野良犬	稲葉 稔／著	小説
	現役自衛官殺人事件の捜査本部が解散同然になり、捜査状況の一切が秘匿された。組織の壁に、何の力も持たない一人の記者が挑む。		
49	博物館の少女	富安 陽子／著	小説
	明治16年、文明開化の東京にやってきた、大阪の古物商の娘・花岡イカル。博物館を舞台に、謎が謎を呼ぶ事件を描くミステリアスな長篇。		
50	博覧男爵	志川 節子／著	小説
	信州飯田で生まれ育った田中芳男。幕末の巴里万博で欧米文化の底力を痛感し、町田久成や大久保利通らと挑戦し続け、現代の東京国立博物館や国立科学博物館等の礎を築いていく…。		
51	星明かり	熊谷 千世子／著	小説
	小6の上杉昴。名前だけで男の子だと勘違いされる。冬休みの宿題をきっかけに、亡くなった母さんが自分の名前をつけてくれたことを知り…。		
52	三つ巴	佐伯 泰英／著	小説
	人の縁が繋がってお目見えした小籐次の新舟「研ぎ舟蛙丸」に江戸中が湧く中、ニセ鼠小僧の悪事が止まらない。小籐次らは成敗に乗り出す。		

番号	書 名	著 者	分 野
53	流人道中記 下	浅田 次郎／著	小説
	流人と押送人が、目的地へ歩みを進める。旅路の果てで明らかになる、罪の真実。武士の鑑である男が、恥を晒して生きる道を選んだ理由とは。		
54	あの子のカーネーション	伊集院 静／著	エッセイ
	男なのにペンネームが女っぽくなった理由、ギャンブルの話、しんみりする話などのエッセイ49編。		
55	いま、言わねば	松本 昌次／著	エッセイ
	埴谷雄高、花田清輝、野間宏ら名著を手がけた伝説的な戦後編集者の遺言集。現在の惨憺たる日本の状況に平易な言葉で異議を申し立てる。		
56	うっとり、チョコレート	青木 奈緒／著	エッセイ
	浅田次郎、伊藤比呂美、江國香織、片岡義男、中島らも、村上春樹ら38人の名手による、身もころもとろけるチョコレートエッセイ集。		
57	裏町談義	井原 修／著	エッセイ
	知久町の古書店「裏町文庫」店主のエッセイ。2011年当時の世相や飯田の街のあれこれや、仲間との交流エピソードなどを語る。		
58	夫の後始末 続	曾野 綾子／著	エッセイ
	88歳の私に課されたのは、自分の後始末。作家・曾野綾子が、夫・三浦朱門を看取ってからの3年間を綴る。		

番号	書 名	著 者	分 野
59	黒雲の下で卵をあたためる	小池 昌代／著	エッセイ
	詩人の鋭い感性と豊かな想像力から立ち現れる、誰もが気が付かなかった日常風景のなかの一場面…。しずかな抒情にみちたエッセイ集。		
60	小鳥の来る日	吉田 絃二郎／著	エッセイ
	自然と人生への感傷的な憧憬と悲哀の情を綴った感想集。		
61	ちいさな言葉	俵 万智／著	エッセイ
	言葉を獲得していく幼子との、発見に満ちた日々。小学校入学までの4年間の至福の時間を、柔らかな感性と思考で綴る。		
62	地図のない道	須賀 敦子／著	エッセイ
	若き日の知人を思い、亡き夫や祖母を追慕する表題作ほか1篇を収録。みずみずしい筆致で静謐な世界を描いた、最後の作品集。		
63	私とあなたのあいだ	温 又柔／著	日記
	私たちが声をもつとき、歴史のなにかが変わるだろう。ふたりの芥川賞候補作家が交わす、圧巻の往復書簡。		
64	文豪と借金	「文豪と借金」編集部／編	エッセイ
	ふざけたことに使うお金ではございません。たのみますー。太宰治、芥川龍之介など、文豪59人の「借金」をテーマにしたアンソロジー。		
65	月に聞かせたい話	シン ギョンスク／著	小説
	ささやかな26の物語。誰にでもありそうな平凡な日常の出来事の中に、現代の韓国社会の一断面を感じ取ることができる短編集。		

番号	書 名	著 者	分 野
<p>通し番号66から82まで、バージェスアニマル・ブックスのシリーズ本です。書名のみ紹介します。著者はソーントン・バージェス、分野は児童文学です。</p>			
66	あらいぐまボビーのしっぱい		
67	いばらやしきのピーターうさぎ		
68	うずらのボブのぼうけん		
69	おしゃべりりすのチャタラー		
70	かものクワックおくさん		
71	くまのバスターはあわてもの		
72	子ぎつねレッドの大しっぱい		
73	コヨーテは森いちばんのりこうもの		
74	じいさまがえるのたび		
75	スカンク・ジミーのピンチ		
76	にっこりいけのヒキガエル		
77	のねずみダニーのぼうけん		
78	ビーバーが森にやってきた		
79	ふくろねずみのビリーおじさん		
80	みどりの森は大さわぎ		
81	やまあらしプリックリーのひみつ		
82	やまねずみジョニーのひみつ		
<p>ここまで、児童文学のバージェスアニマル・ブックスのシリーズ本でした。</p>			

番号	書 名	著 者	分 野
83	鬼火 上・下	マイクル・コナリー／著	海外文学
	亡くなった恩師の未解決殺人事件を解決すべく、凄腕女性刑事バラードに協力を求め、捜査を進める。ボッシュ&バラード、第2弾。		
84	寒慄	アリー・レナルズ／著	海外文学
	アルプス山中でスノーボード選手サスキアが姿を消した。10年後、当時の関係者であるミラは4人の男女とこの地で再会し…。		
85	「グレート・ギャツビー」を追え	ジョン・グリシャム／著	海外文学
	直筆原稿が強奪された。捜査線上に浮かんだブルースはフロリダで書店を営む。真相を探るべく送り込まれた新進小説家のマーサーは、秘密の核心に迫ろうとするが…。		
86	警告 上	マイクル・コナリー／著	海外文学
	記者マカヴォイに殺人容疑がかけられた。被害者がデジタル・ストーキングされていたとの情報から、マカヴォイは事件を調べ始める。		
87	最後の審判	ロバート・ベイリー／著	海外文学
	老弁護士トムにかつて煮え湯を飲まされた殺人鬼が脱獄し、復讐劇が幕を開けた。癌に冒されたトムは愛する者たちを守れるか。シリーズ完結編。		
88	素晴らしき世界 下	マイクル・コナリー／著	海外文学
	15歳の家出少女が殺害されたかつての未解決事件。バラードとボッシュは協力して真相解明に取り組むが、思わぬ危機に直面し…。ハリー・ボッシュ・シリーズ。		

番号	書 名	著 者	分 野
89	ハートに火をつけないで	ジャナ・デリオン／著	海外文学
	デート前、居心地の悪い時間を過ごすCIA工作員のフォーチュン。アリーの家が火事で、原因は放火と連絡があり、警告を無視して犯人を追う。		
90	もう耳は貸さない	ダニエル・フリードマン／著	海外文学
	殺人課の刑事を引退して数十年。89歳のバックは、ラジオ番組のインタビューを申し込まれる。かつて逮捕した殺人犯が、自白を強要されたと主張しているらしく…。		
91	燃える川	ピーター・ヘラー／著	海外文学
	大学生ウィンとジャックはカヌーの旅に出た。しかし、キャンプしながら釣りを楽しむ日々は、山火事で一変。冒険サスペンス。		
92	ラスト・トライアル	ロバート・ベイリー／著	海外文学
	少女が殺人事件の容疑者として逮捕された母親の弁護をトムに依頼する。母親は因縁の人物、法廷で闘う相手は無二の友人たちだった一。「ザ・プロフェッサー」シリーズ第3弾。		
93	ベルリンで追われる男	マックス・アンナス／著	海外文学
	不法残留者のコージョは、男が売春婦を殺す瞬間を目撃するが、強制送還を恐れて通報できない。容疑者として警察から追われることになり…。		
94	やんも一光る命の物語一 9-1・9-2	南信州新聞社出版局／編	児童文学
	第九回椋鳩十記念伊那谷童話大賞の受賞作品集。		